

やってみよう自分から もっと生かそう学んだことを ともに生きよう感謝の心で



学校だより

1月号

横浜市立谷本小学校
令和3年 1月 6日

HP アドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamoto/>



しんねん
新年あけまして

おめでとうございます

校長 和内 昭子

今年はコロナ禍でのお正月となり、「家でのお正月」を楽しめたでしょうか。

箱根駅伝が多くの方々の方々の努力により開催され、東京大手町から箱根の109.6キロを20校の大学が往路5名、復路5名で襷を繋いでいきます。沿道での応援を控え、家での応援となりましたが、みんなで知恵を出し合い、協力し合うことで実現できることを証明してくれました。オリンピック・パラリンピックも世界中の人たちへの希望となるためにも実現に向けて、私たちができることを努力していきたいと思ひます。

谷本小でも「谷本の森の保全活動」が12月12日に実現しました。前日には、全校児童でクリーン大作戦を行い、校庭やスロープなどの落ち葉拾いを行いました。

当日は、森林インストラクターの指導の下、森の中では高学年やたぬきクラブのお父さん方、地域の方々に階段修理などを行い、低・中学年や保護者、地域コーディネーターの方々などで下校庭のビオトープの清掃や階段、駐車場周りの落ち葉拾いなどを行いました。多くの人の力で森や下校庭が整備されました。お陰で「谷本の森」に子どもたちが、やっと入れるようになりました。児童が中休みのチャイムが聞こえず、授業に遅れるなどのハプニングもありましたが、児童支援専任が森の約束の確認や森の入り口に鐘を置くなど工夫し安全に活動できるようにしています。新しい教育課程の中で「谷本の森」を生かしていけるように児童と教職員で知恵を出し合い、協力し合って豊かな自然を心と体で感じていけるようにしたいと思ひます。「森の保全」は学校予算だけではなかなか難しい状況であり、児童や教職員の力だけでもできません。今後も保護者の皆様、地域の皆様のお力をお借りして安全に学べる「谷本の森づくり」にご協力をよろしくお願いいたひます。

